

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房
(証券コード6548)
2021年8月13日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

2022年3月期 第1四半期 決算概要



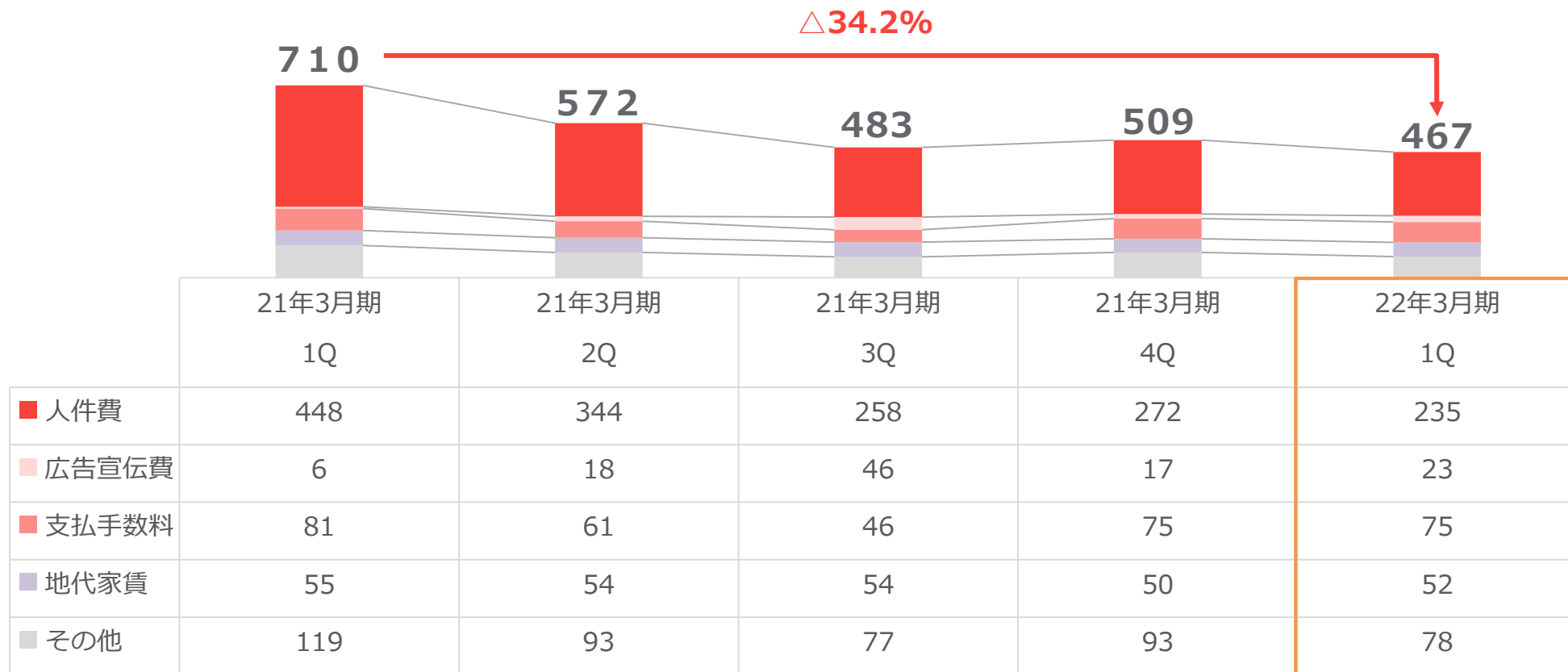
引き続きコロナの影響により、売上が低迷する中で 販管費の抑制を継続

コロナ影響下

単位： 百万円	20/3期 1Q	20/3期 2Q	20/3期 3Q	20/3期 4Q	21/3期 1Q	21/3期 2Q	21/3期 3Q	21/3期 4Q	22/3期 1Q	21/3期4Q 比較増減	21/3期1Q 比較増減	20/3期1Q 比較減額
売上高	7,944	10,457	8,747	6,206	150	162	1,170	171	132	△39	△18	△7,812
売上総利益	1,121	1,411	1,079	597	55	29	144	2	38	35	△17	△1,083
販管費	1,040	1,085	1,053	890	710	572	483	509	467	△42	△243	△573
営業利益	81	325	25	△293	△655	△543	△339	△507	△429	78	225	△510
経常利益	80	323	16	△282	△648	△191	△210	△304	△387	△82	260	△468

販管費全体は前1Q比較で **△34.2%**
 出向や休業などにより、人件費を抑制
 広告宣伝費や支払手数料に関しては効果を見定めた上で投資を継続

単位：百万円



借入の継続により資金を維持すると共に 当期純損失の計上による、自己資本の悪化を 第三者割当による新株予約権の行使により補填

単位：百万円

	21/3期末	22/3期1Q末	増減
総資産	5,642	5,677	+35
自己資本	497	478	△18
自己資本比率	8.8%	8.4%	△0.4%
有利子負債	4,200	4,200	-
現金及び預金	3,520	3,615	+94
運転資本*	319	204	△114
敷金・保証金・預け金等	391	349	+5

前期末（22/3期末）から大きな増減は発生せず。

* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）

2022年3月期 通期業績予想



新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により情勢が日ごとに変化する中、現時点での合理的な業績予想の算定ができな
いため、**2022年3月期の業績予想は未定**とさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いた
します。

2022年3月期 事業戦略



海外渡航再開を見据えた体制の維持と国内事業への投資継続

事業環境の予測

- デルタ株による新規感染者数の増加やラムダ株の発生など収束時期の読みにくい状況が続くが、2021年度中に国内のワクチン接種が拡がり、渡航制限が徐々に解除され、2021年後半～2022年初頭には海外旅行の需要が少しずつ戻ってくると予測

費用の削減と雇用の維持

- 海外旅行需要の本格的な回復を見据えながら、可能な限り支出を抑え、必要に応じて追加の資金調達を行い、財政状態を維持すると共に社員の雇用も維持

国内旅行販売への投資の継続

- 2021年3月期に開始した国内旅行販売に関しては、当社の主力事業の一つにするため投資を継続

販売施策

1. 海外旅行の再開に備え、申込金不要の「お預かりプラン」の受付を開始

・ワクチン接種が進み、海外ツアー催行再開による急激な需要の高まりと、航空券・ホテルの供給不足に備え、申込金不要で予約を確保するサービスを開始。国内外の出入国の規制などの状況を顧客と確認しながら、旅行実施の可否を判断

2. 国内LCC最大手「ピーチ・アビエーション」との包括運賃契約によるオンラインツアー販売の開始

・国内LCC最大手「ピーチ・アビエーション」との包括運賃契約に基づき、日本国内全路線のツアーをオンラインで販売を開始。今後国内線だけではなく、国際線も同様にピーチ・アビエーション利用のツアーをオンラインで積極的に販売

3. 国内ダイナミックパッケージ

・ANA,JALをはじめとした国内の全航空会社と全国20,000軒のホテルをWEB上で自由に選択/組み合わせができる「国内ダイナミックパッケージツアー」をリリースし、積極展開

マーケティング・システム施策

1. オンライン旅会(次ページ参照)

・コロナ禍でも当社主催の旅会を開催することにより、タビマエ需要の喚起をすすめる
・当社顧客基盤施策の一環として、旅会参加者の会員登録を必須とすることにより、当社会員数の増加を進める

2. 露出拡大(p.11参照)

・リスティング広告のみならず、ポータルサイトとの提携やSNSその他への広告出稿、独自アンケート調査内容のテレビやweb媒体に多く取り上げられ、広告効果創出を推進

3. API接続の強化

・国内旅行販売強化のため、各航空会社とのAPI接続連携を進め、またホテルについてもサイトコントローラーとのAPI接続連携を進めることにより、仕入面での強化を図る

直近の旅会の申込者/会員数推移

- 申込者累計では1万人突破
- 1回で1000人集客できた会も
- ハワイは定番化。固定ファンも
- 旅会関連プレスリリースで100件超掲載等、継続してPR効果維持

	5月 ニュージーランド ハワイ	6月 ドバイ マレーシア	7月 韓国 ハワイ エジプト
申込者 (当月合計)	1,739人	1,384人	2,272人
旅会会員数 (累計)	4,113人	4,445人	4,938人



2021.08.01 Sun. 11:00~
12:00

シンガポールのホーカーやチャイナタウン、マリーナ周辺から生中継お届け！シンガポール街歩き旅会



2021.07.31 Sat. 17:00~
18:30

世界遺産ギザの3大ピラミッドやスフィンクスから生中継♪現地ガイドのご案内！エジプト旅会



2021.07.25 Sun. 11:00~
12:30

ハワイの最新情報をご紹介！カピオラニ公園やワイキキビーチから生中継♪ハワイお散歩旅会



2021.07.17 Sat. 11:00~
12:00

韓国の最新情報をお届け！通仁市場や、伝統的な韓屋カフェなどを生中継♪韓国街ぶら旅会



2021.06.27 Sun. 11:00~
12:00

現地と中継もあり！クアラルンプールで話題のSNS映えスポットをご紹介！マレーシアオンライン旅会



2021.06.19 Sat. 14:45~
16:00

オールドスークやアブラなど、伝統的なドバイの魅力を発見！オールド・ドバイ旅会

今後のオンライン旅会

- 定番及びEURなど渡航再開を見据えた情報提供の場として活用
- 渡航再開時のご案内等につなげる
- 口コミ効果やタイアップを含め、顧客基盤拡充と活用をすすめる
- コミュニティとしての位置づけを確立する

各種配信を継続実施

- webアンケート/サービス展開/LP公開等を引き続き積極的にリリース

News Release 2021年7月30日
株式会社 旅工房
(コード番号: 6548 東証マザーズ)

**3つの世界遺産を持つ鹿児島県の絶景に注目!!!
インスタ映え写真満載「きゅん旅♡鹿児島」
特集ページを7月30日(金)に開設**

オーダーメイドの旅を提供するトラベル・コンシェルジュ・カンパニー、株式会社旅工房(東京都豊島区、代表取締役会長兼社長:高山啓仁)は、3つの世界遺産を持つ鹿児島県の絶景を紹介する「きゅん旅♡鹿児島」特集ページを7月30日(金)に開設しました。



「きゅん旅♡鹿児島」特集ページ: <https://www.tabikobo.com/dtour/kagoshima/kyuntabi/>

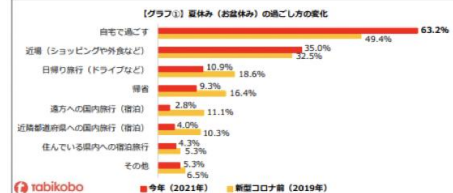
■「きゅん旅♡鹿児島」特集ページとは
7月26日に世界自然遺産に登録された「奄美大島・徳之島」、日本の世界自然遺産「屋久島」、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」と、3つの世界遺産を持つ鹿児島県。歴史的な建物から美しい海や神秘的な森など、多彩な魅力あふれる観光地です。当ページでは、大自然が織りなす絶景や写真映えスポットの魅力をご紹介します。

2021年7月28日
株式会社 旅工房
(コード番号: 6548 東証マザーズ)

アンケート調査～「どうなる!? コロナ禍の夏休み(お盆休み)」
自宅で過ごす」が9割超 「お盆の帰省」は約1割
コロナ感染拡大前より退社を控える傾向に
「お盆休み」は約3割 ワクチン接種により回復の兆しも

オーダーメイドの旅を提供するトラベル・コンシェルジュ・カンパニー、株式会社旅工房(東京都豊島区、代表取締役会長兼社長:高山啓仁)は、2021年7月16日(金)～18日(日)の3日間、「コロナ禍の夏休み(お盆休み)」や帰省に関するアンケート」をWEBアンケート方式で実施しました。7月12日(月)の緊急事態宣言発令後に実施した、コロナ禍の夏休み(お盆休み)の過ごし方や旅行に対する意識や実態を反映したアンケート調査となりました。前調査の一資料として、ぜひご活用ください。

■調査結果トピックス



新型コロナウイルスの影響により、夏休み(お盆休み)の過ごし方や考え方が変わったと回答した方が66.0%と7割近くを占める。今年の夏休み(お盆休み)は、自宅で過ごすと回答した方が2019年の新型コロナウイルス前よりも約1.3倍増加し9割を超える結果に、お盆休みの帰省は新型コロナウイルス前よりも減少、退社を控える傾向がうかがえる。

広告換算値の積み上げ、伸長

- TVでの紹介等、高い広告換算値を得られるような取り組みにつなげている
→ 1Q合計で約64百万円の広告換算値を獲得

	4月	5月	6月
広告換算値(当月合計)	37,397,087	3,106,219	24,275,675
掲載媒体	38	12	10
1回あたりの最大	10,990,000	431,595	16,420,000

国内記事の配信を強化

- 月20記事を継続配信
- SEO最適化ノウハウを盛り込んだライティングにより上位獲得増
- 国内系キーワードで1位獲得も

	3月：20年度	4月：21年度	5月：21年度	6月：21年度	先月比
自然検索流入数	103,698	143,320	190,311	336,638	+146,327
UU	113,789	130,237	176,239	296,221	+119,982

Google上位表示（5位以内）されている記事の増加

3月末時点	4月末時点	5月末時点	6月末時点	先月比
46	53	75	97	+22



今後の展開

- 他社タイアップ等でのメディアカ及びSEO観点でのサイトパワー強化
- セッション獲得強化を継続
- 獲得トラフィックからの収益化
- ツアー掲載等との連動強化

法人旅行事業

- レジャー（個人向け）よりも早期の需要回復が見込まれる**国内出張手配やMICE案件の取り込みを最優先とし、収益拡大に注力**
 - 国内出張需要がある法人顧客に対し、クラウド型出張手配管理サービス「AI Travel*」導入に向けた販促活動を積極展開
 - 一定の需要が見込める国内インセンティブツアーなどのMICE案件の受注拡大
 - コロナ禍でも需要が拡大する法人顧客からのウェビナー案件について受注拡大

国際旅行事業 （インバウンド + 海外展開）

- コロナ禍における海外渡航の顧客ニーズに対応するため、現地子会社において**入国支援サービスを展開**
 - ビザやワークパーミットの取得支援
 - 政府の承認を得たホテルでの隔離パッケージの予約手配
 - 現地到着後の送迎車の手配
 - 現地到着後の車チャーター、オプションツアー、スパ等の予約手配
 - 日本人及び日本語スタッフによる現地滞在中のサポート

※ 「AI Travel」は、株式会社AIトラベルが運営し、独自のAI技術を活用したクラウド型の出張手配管理サービスです

- 新型コロナウイルスにより、旅行市場は大きな影響を受け、当社もその影響を受けております
- しかし、コロナ禍が起こす旅行市場の変化と旅行需要が回復するタイミングを好機と捉え、旅行事業拡大に向けた万全の準備を進めてまいります

国内旅行

- ✓ 旅工房がもつ年間30万人にのぼる海外旅行の個人顧客と約1,200社の法人顧客へアプローチを行い、早期の国内旅行の収益基盤化を図る
- ✓ インバウンド需要回復後は、確立した国内旅行事業をベースに、インバウンド事業の展開を図る

海外旅行

- ✓ 今後、紙のパンフレットや店舗販売が縮小していく中で、販売チャネルをインターネットに特化する当社は、企画、販売、価格競争力の面で大きなアドバンテージをもつため、海外旅行需要回復後は、質・量の両面で大規模なマーケット展開を図り、市場におけるシェアの一気拡大を図る

引き続きコロナの影響により、売上が低迷する中で販管費の抑制を継続

単位：百万円	20年3月期 1Q	21年3月期 1Q	21年3月期 1Q	対 20年3月期 増減	
売上高	7,944	150	132	△7,812	
売上総利益	1,121	55	38	△1,083	
人件費	526	448	235	△290	
支払手数料	148	81	75	△72	21年3月期1Q対比では 費用の抑制を進めたこと で赤字幅は改善。
広告宣伝費	162	6	23	△138	
その他の販管費	203	174	131	△71	20年3月期1Q対比では 売上の減少幅が著しく 損益が大きく悪化。
営業利益	81	△655	△429	△510	
経常利益	80	△648	△387	△468	
税金等調整前四半期純 利益	80	△648	△387	△468	
法人税等合計	31	△194	2	△29	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47	△452	△388	△436	

21年3月期1Q対比では
費用の抑制を進めたこと
で赤字幅は改善。

20年3月期1Q対比では
売上の減少幅が著しく
損益が大きく悪化。

当期純損失の計上などにより利益剰余金が390百万円減少、
新株予約権の行使により資本金等が369百万円増加

単位：百万円	21年3月期 末	22年3月期 1Q末	増減額	単位：百万円	20年3月期 末	21年3月期 末	増減額
流動資産	4,707	4,745	+37	流動負債	4,566	4,624	+57
現金及び預金	3,520	3,615	+94	短期借入金	3,700	3,700	-
売掛金	363	369	+6	未払金	387	390	+2
旅行前払金	70	105	+35	旅行前受金	45	106	+60
未収入金	585	524	△60	預り金	166	178	+12
固定資産	935	932	△2	固定負債	567	564	△2
有形固定資産	141	136	△5	長期借入金	500	500	-
無形固定資産	431	429	△2	負債合計	5,134	5,189	+55
ソフトウェア	381	383	+2	株主資本	484	463	△20
投資その他	361	366	+4	資本金等	1,218	1,588	+369
資産合計	5,642	5,677	+35	利益剰余金	△734	△1,124	△390
				その他包括利益	13	14	+1
				非支配株主持分	8	7	+0
				純資産合計	508	487	△20

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。